

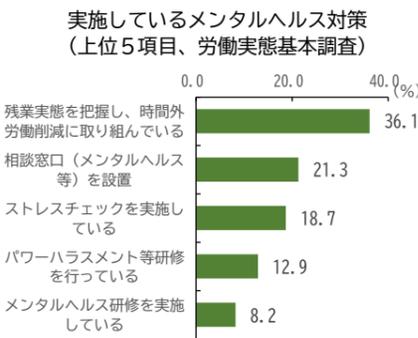
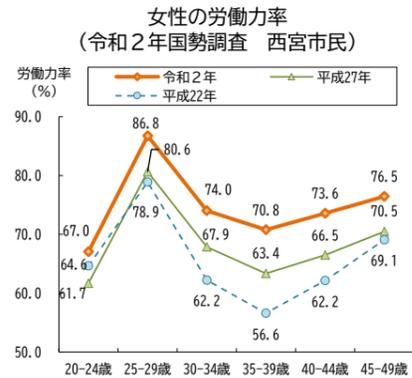
第2次西宮市働きやすいまちづくりプラン（令和6(2024)年度～令和10(2028)年度）の概要

基本理念

就業機会の拡大を通して
誰もが自分に合った働き方ができる環境づくりを目指し
「人材を育むまちにしのみや」を実現する

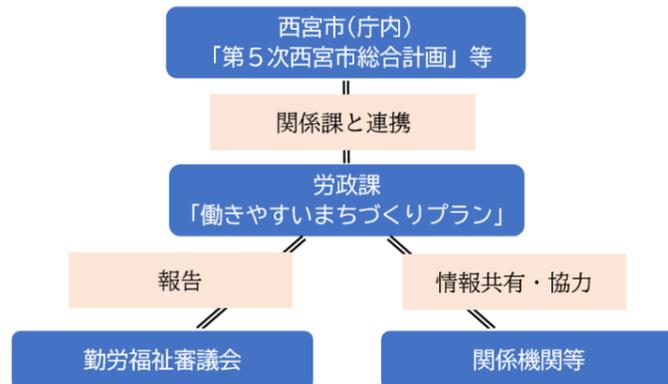
各種統計・調査からみた現状と課題

- ◆西宮市内の産業別の就業者は「卸売業、小売業」（33,620人、22.0%）「医療、福祉」（30,154人、19.7%）が多く、兵庫県・全国と比べると、「医療、福祉」「教育・学習・支援業」の割合が高い。【経済センサス】
- ◆西宮市民では、男性は正規職員、兵庫県外での従業の割合が高く、女性はパート・アルバイト、西宮市内での従業の割合が高い。【国勢調査】
- ◆子育て期間中も就労を継続するなど、働く女性の割合が増加しており、女性の就労支援の重要性が増している。【国勢調査】
- ◆メンタルヘルス対策、男女機会均等に関する各種の取り組みについて、市内事業所では取り組まれていないものが多く、働きやすい環境づくりや男女機会均等に向け、引き続き取り組んでいくことが課題。【労働実態基本調査】
- ◆平成31年4月1日から順次施行されている「働き方改革関連法」に関する取組について、「年次有給休暇の年5日間の確実な取得」「時間外労働の上限規制」「同一労働同一賃金」のいずれについても、市内事業所では、従業員数が10人未満の小規模の事業所に対応が遅れている状況があり、引き続き働き方改革に関する広報・啓発が課題。【労働実態基本調査】
- ◆西宮市勤労福祉行政に支援を希望する事業・施策については、採用・人材確保に関する項目が上位となっており、取り組みの充実が求められる。【労働実態基本調査】



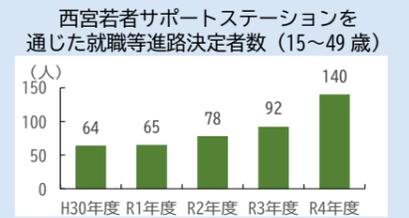
計画の推進体制

- ◆本計画は、第5次西宮市総合計画を上位計画として、庁内各課の関係する計画と連携して推進します。
- ◆本計画の進捗状況は、労政課が毎年度、勤労福祉審議会に報告します。
- ◆本計画の推進にあたっては、ハローワーク西宮・商工会議所などの関係機関と情報共有・協力します。



基本施策1：就労支援への積極的な取り組み

- 多様な求職者への就労支援
 - 求職者に寄りそった就労支援
 - 女性の就業に関する相談支援
 - 若年者等への就労支援
 - 西宮市シルバー人材センターへの支援
- 就労支援拠点の整備



基本施策2：働きやすい環境づくり支援

- 労働相談の充実
- 労働者の福祉の向上
- 企業が社会的責任を果たす取り組みの推進

基本施策3：関係機関との連携

- 自治体との連携
 - 兵庫県との連携
 - NATS連携
- 兵庫労働局との連携
 - 兵庫労働局
 - ハローワーク西宮
 - 西宮労働基準監督署
- 就労支援機関との連携
- 関係団体との連携
 - 西宮商工会議所との連携
 - 兵庫県社会保険労務士会西宮支部との連携
 - 西宮労働基準協会との連携

NATS連携

西宮市・尼崎市・豊中市・吹田市 (NATS) で協力して労働相談を実施します。

西宮市雇用対策協定

西宮市と厚生労働省兵庫労働局は、連携・協力して、雇用対策・就業支援施策を一体的かつ効果的に推進するため、令和4(2022)年3月14日「西宮市雇用対策協定」を締結しました。

基本施策4：広報・啓発・情報提供の取り組み

- 労働実態基本調査の実施
- 待遇の改善に関する広報
 - 賃金の引上げに向けた支援の広報
 - 人への投資関連施策に関する広報
- 多様な人材の活躍に関する広報
 - 女性活躍・男性の育児休業取得の促進に関する広報
 - 求職者ニーズに応じた支援に関する広報
 - 外国人労働者に関する広報
- 誰もが働きやすい職場づくりに関する広報
 - 安全で健康に働くことができる環境づくりに関する広報
 - 障害者・高齢者の活躍に関する啓発



数値目標	H30年度 実績	R4年度 実績	R10年度 目標値
就労支援センター等の年間就職決定者数	—	—	50名
しごとサポートウェブにしきたを通じた年間就職者数	371名	261名	300名
西宮若者サポートステーションを通じた年間進路決定者数	100名	140名	150名
西宮市シルバー人材センター会員数	2,302名	2,240名	2,300名